

第8回 デジタルインフラ（DC等）整備に関する有識者会合

議事要旨

日時：2024年6月5日（水）11:00～12:30

場所：Microsoft Teams 会議

議事要旨

事務局より、資料3について説明。

アマゾン ウェブ サービス ジャパンより、資料4について説明。

ソフトバンクより、資料5について説明。

以下、委員からの意見（要旨）。

【拠点整備の在り方】

- DCだけでなく、先進的な産業も同時に立地するように設計することがインフラ整備のインセンティブになる。こうした全体のエコシステムを意識して、ポジティブなスパイラルをどのように形成していくか、先端産業がそのインフラをどう利用できるかを焦点にあてたコミュニティやキャンパスの設計が必要。例えば AI の次に想定される「産業クラウド」のように、先端産業が使おうとしている DC の用途を意識し、それら呼び込むための DC の設計や立地が重要。
- 東京一極集中に対し、これからも地方に住んでみたいと思ってもらえることが必要で、それを実現するまちづくりにデジタルは必須。キャパシティ等の違いはあれど、DC を地方に分散させること自体は必要。
- 電力、計算資源、人材は大都市に集中しているところ、地方の大学における研究開発を促進する等、科学技術の研究プロジェクトを各県に広げていくのも一つの考え方ではないか。

【エネルギー・電力】

- DC の所要電力については、DC と電力インフラの整備の時間軸の違いを踏まえて確保していくことが必要であるが、DC を中心に解決できる課題ではないことにも留意が必要。
- 電力の供給には送電網が必要だが、発電所の近傍であれば大規模なネットワークは不要。そういった場所に DC を立地させ、オール光ネットワークでつなぐという選択肢もある。
- 電力の確保に加え、学習用の AI と推論用の AI といった用途別の整理が必要。学習用の AI のための DC の需要は永続的に増加し続けるものではないのではないか。推論用であれば GW クラスの DC は不要ではないか。

以上